

大学等における「放課後児童指導員資格」
養成課程設置に関する手引き

[2014年5月20日 改訂版]

特定非営利活動法人 日本放課後児童指導員協会

〒700-0822 岡山市北区表町1丁目4-64 上之町ビル4階

TEL&FAX：086-224-4101

E-mail：info@ja-acc.jp <http://www.ja-acc.jp/>

1. 資格の概要

・日本放課後児童指導員協会（以下、「本協会」と表記）が発行している資格は、次の2種類です。

①放課後児童指導員資格

②放課後児童指導員資格《上級》

・「放課後児童指導員資格」養成課程（以下、「本養成課程」と表記）のカリキュラムの修了によって取得できる資格は、①放課後児童指導員資格です。

・②放課後児童指導員資格《上級》は、実務経験と本協会が開講している「学童保育実地研究」の修了が必要です。

2. 設置申請について

・本養成課程は、四年制大学、短期大学、専攻科、専門学校（以下、「大学等」と表記）に設置することができます。

・本養成課程の設置申請期間は、設置する前年度の5月～9月頃を原則とします。

・設置申請にあたっては、随時、相談を受け付けております。

・設置審査の結果は、終了次第、申請校に通知します。なお、再審査が必要な場合は、随時、通知します。

・（仮称）放課後児童指導員養成校連絡協議会（以下、連絡協議会）には、必ずご入会ください。

3. 設置等にかかる経費一覧

費目	料金	負担者	納入時期	主な用途	備考
設置料	50,000円	設置校	設置完了時	設置に係る費用	設置年度のみ。2015年度設置校は無料。
本協会年会費	20,000円	設置校	5月末	本協会の運営費	設置年度から毎年。
資格申請料	4,000円	資格取得者	資格申請時	資格発行手数料	設置校でとりまとめてください。
連絡協議会年会費	30,000円	設置校	5月末	連絡協議会の運営費	設置年度から毎年。別紙参照。

4. 開設を要する授業科目と振替科目

設置主体	科目名と単位数							資格付与の条件	
	学童保育の目的と役割に関する科目		学童保育の対象理解に関する科目		学童保育の内容と方法に関する科目		学童保育実習(事前・事後指導を含む)		
	4 単位		6 単位		12 単位		5 単位		
	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	授業科目名	単位	
大学・短期大学	学童保育論 I	2	学童期の子どもの心理 * 発達心理学 * 保育の心理学	2	学童保育方法論	2	学童保育実習 I	3	左記 27 単位を修得のうえ、本カリキュラムの設置主体を卒業すること。
	学童保育論 II * 児童福祉 * 児童家庭福祉 * 社会福祉	2	学童期の健康と栄養 * 小児保健 * 小児栄養 * 子どもの保健 * 子どもの食と栄養	2	学童期の遊びと文化活動 * 保育内容 * 基礎技能 * 保育課程論 * 保育の表現技術	4	学童保育実習 II * 小学校教育実習 * 幼稚園教育実習 * 保育所実習 * 社会福祉実習 * 保育実習	2	
			障害のある学童の 理解と援助 * 障害児保育	2	学童の養護の内容と方法 * 養護原理 * 精神保健 * 養護内容 * 社会的養護 * 社会的養護内容	2			
				2	学童保育研究法 * 教職実践演習 * 保育実践演習 * 卒業研究 地域・家族福祉と子育て支援 * 社会福祉 * 家族援助論 * 社会福祉援助技術 * 相談援助 * 家庭支援論 * 保育相談支援	2			
専攻科	学童保育論	2	学童期の子どもの発達	2	学童保育実践論	2	学童保育実習	3	保育士資格、小学校教諭二種免許状、幼稚園教諭二種免許状、社会福祉士国家試験受験資格のいずれかを取得していること。

・*は、保育士養成課程等の設置科目で、振替可能な科目です。・「学童期の子どもの発達」は、既習科目での振替が可能です。

・振替科目については、別途、ご相談ください。

5. 授業科目に含める必要事項

科目名	授業科目名	授業科目に含める必要事項
学童保育の目的と役割に関する科目	学童保育論Ⅰ	①現代の社会および子育て状況を踏まえた学童保育の目的と役割 ②学童保育の歴史と制度・運営形態および地域・行政機関との関係 ③学童保育指導員の職務内容と倫理
	学童保育論Ⅱ	①地域家族福祉と学童保育の役割 ②学童保育における子育て支援のあり方
	学童保育論	「学童保育の目的と役割に関する科目」の事項を全て含むこと。
学童保育の対象理解に関する科目	学童期の子どもの心理	①低学年および中・高学年の学童期の発達の特徴 ②学童期の身体的特徴と生活習慣
	学童期の健康と栄養	①学童期の健康と栄養 ②学童保育に求められる救急時の実際
	障害のある学童の理解と援助	①身体に障がいのある子ども理解の必要性と方法。障がいのある子どもの保育と家族支援 ②発達障がいのある子ども理解の必要性と方法。発達障がいのある子どもの保育と家族支援
	学童期の子どもの発達	「学童保育の対象理解に関する科目」の事項を全て含むこと。
学童保育の内容と方法に関する科目	学童保育方法論	①学童保育実践の原則 ②学童保育における集団づくりの必要性と方法 ③学童保育における省察・記録の必要性と方法
	学童期の遊びと文化活動	①学童期の子どもの遊び・文化活動の特徴 ②学童保育の遊び・文化活動の指導の特徴 ③学童保育の遊びおよび文化活動の実際（実技を含む） ④学童保育における短期的な保育計画の意義と編成および評価と改善 ⑤学童保育における長期的な保育計画の意義と編成
	学童の養護の内容と方法	①学童の養護の内容と方法
	学童保育研究法	①子どもや福祉などの領域を対象とした研究方法の学習
	地域・家族福祉と子育て支援	①学童保育運営と保護者・地域との連携 ②指導員間の同僚性の確立とクラブ内研修の組織化 ③指導員と保護者との連携・協働一個々の保護者から保護者会まで一
	学童保育実践論	「学童保育の内容と方法に関する科目」事項を全て含むこと。
	学童保育実習	学童保育実習Ⅰ
学童保育実習Ⅱ		①学童保育実習
学童保育実習		「学童保育実習」の事項を全て含むこと。

6. 実習科目の構成

- ・実習科目は、下表の通りです。
- ・実習の時期に関する指定はありませんので、各週末や祝日でも、長期休暇でもかまいません。
- ・「学童保育実習Ⅰ・Ⅱ」は、いずれも、1日の実習で8時間、半日の実習で4時間を標準とし、90時間以上の実習を以て2単位を認定します。
- ・「学童保育実習Ⅰ・Ⅱ」は、いずれも、平日と学校休業日の両方を含めて実施してください。
- ・支援センター等の学童保育に関する行政的、事務的作業の時間も実習時間に含めることができます。
- ・「学童保育実習Ⅰ」の既習者は、下表の実習において、90時間もしくは2単位以上の実習を以て「学童保育実習Ⅱ」の単位に振替が可能です。
- ・実習を引き受ける学童保育所は、本協会や地元の関係団体等が設置大学等に紹介することも可能ですので、必要に応じて、本協会にご相談ください。
- ・実習生の配置数の上限は、1施設（大規模分離をしている場合は分離した施設ごとに受け入れ可）2名以下を原則とします。
- ・実習費は、本養成課程設置校の実情に合わせて設定してください。

【開設を要する実習科目の構成】

設置主体	授業科目名	単位	備考
大学 ・短期大学	学童保育実習Ⅰ	3	事前・事後指導を含む。 事前指導と事後指導は、合わせて15コマを開講してください。
	学童保育実習Ⅱ	2	「学童保育実習Ⅰ」の既習者は、小学校実習、幼稚園実習、保育所実習、保育実習、社会福祉実習等による振替が可能。
専攻科	学童保育実習	3	事前・事後指導を含む。保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、小学校教諭二種免許状、社会福祉士国家試験受験資格のいずれかの取得者を対象とした科目。

なお、実習科目は、下記の2条件の両方を満たしている学生（科目等履修生を含む）に対して免除することができる。

条件1 保育士資格、幼稚園教諭二種免許状、小学校教諭二種免許状、社会福祉士国家試験受験資格のいずれかを取得している者。

条件2 学童保育の実務に関して、1年以内に90時間の職務経験を有すると設置校が判断できる者。

7. 教員審査の基準

科目名	授業担当者が必要とする業績・経験		
	必要とする研究業績	必要とする教育経験	必要とする実務経験
学童保育の目的と役割に関する科目	学童保育に関する現状、目的と役割、歴史、制度、職業倫理のいずれか、もしくはその近接領域に関する研究業績を1編以上。	学童保育に関する現状、目的と役割、歴史、制度、職業倫理のいずれかについて、研修会等での教育指導経験を1回以上。	放課後児童クラブにおいて3年以上の実務経験をもち、所属クラブでリーダー的役割を担っている、もしくは本協会の放課後児童指導員資格《上級》を取得していること。
学童保育の対象理解に関する科目	学童期の子どもの心理に関する研究業績を1編以上、学童期の健康に関する研究業績を1編以上、学童期の栄養に関する研究業績を1編以上、障害のある学童の理解と援助に関する研究業績を1編以上。	学童期の子どもの心理に関して研修会等での教育指導経験を1回以上、学童期の健康に関して研修会等での教育指導経験を1回以上、学童期の栄養に関して研修会等での教育指導経験を1回以上、障害のある学童の理解と援助に関して研修会等での教育指導経験を1回以上。	
学童保育の内容と方法に関する科目	学童保育の実践、もしくはその近接領域に関する研究業績を1編以上。	学童保育の実践に関して研修会等での教育指導経験を1回以上。	
学童保育実習	学童保育、もしくはその近接領域に関する研究業績を1編以上。	研修会等で、学童保育に関して研修会等での教育指導経験を1回以上。	

- ・「授業担当者が必要とする業績・経験」は、「必要とする研究業績」「必要とする教育経験」「必要とする実務経験」のいずれか1つ以上の基準を満たす必要があります。
- ・いずれの授業科目も複数教員による開講が可能です。
- ・1人の教員が、複数の授業科目を担当することが可能です。ただし、すべての開設科目を1人の教員が担当することはできません。

8. 補足事項

- ・本養成課程のカリキュラムは、本協会による認定講習会と、学童保育指導員専門性研究会案のカリキュラムを基礎にして作成しています。
- ・大学等における授業の配当年次に関する指定はありません。
- ・本養成課程を設置する大学等は、前年度末までに、講義担当者の教員資格審査を受けて合格する必要があります。
- ・本手引きは、2014年5月20日の日本放課後児童指導員協会理事会で承認されたものです。